

# 入善町 議会だより

№.82号

平成4年11月27日

発行 入善町議会

編集/入善町議会だより編集委員会  
富山県下新川郡入善町入善3,255  
TEL 0765 (72) 1100  
FAX 0765 (74) 0067



10月10日 こけら落とし  
日本リーグ女子バレーボール交流試合  
NECレッドロケッツ  
対  
TOYOBOオーキス

## 『佐川急便疑惑の徹底解明と 政治腐敗防止・政治倫理確立を求める意見書』

第25回臨時議会で可決—11月6日—

公職選挙法の改正により議員は  
年賀状を出すことができなくなりました  
よい年をお迎えください。 入善町議会



水キラキラ 町いきいき 入善

# 9月定例議会

第二十二回入善町議会定例会は九月十日から二十一日までの十二日間の会期で開催され、平成四年度一般会計補正予算をはじめ議案十一件、議員提出議案二件、同意案一件について審議した。

## 十月十七日から 毎週土曜日が休日

※町の休日を守る条例の一部改正  
 ※町職員の勤務時間に関する条例の一部改正

この条例改正は、週休二日制の導入と、これに伴う町職員の勤務時間を改正するものである。  
 ※町議会議員の報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

正副議長及び議員の報酬・費用弁償を次のように改正した。  
 議長 三十四万五千円  
 副議長 二十九万五千円  
 議員 二十七万五千円

平成四年七月一日から適用。  
 ※町長等の給料その他の給与及び旅費支給条例の一部改正  
 町長 八十三万円  
 助役 六十八万円  
 収入役 六十一万円

※平成四年度一般会計補正予算  
 三億四千五百二十六万円を増額補正し、総額を九十九億四千五百六十四万円とした。  
 今回の補正は、国・県補助事業の決定によるもののほか、町単の道路改良舗装事業九千五百万円、中央通り線代替用地購入造成費二千七百三十八万円、来年度の合併四十周年事業の一環として、ビデオ作成費百万円があり、その他に  
 ★県営土地改良事業負担金 五千三十八万九千円  
 ★無雪害街づくり整備事業費 一千三百五十万円  
 ★施設関連道路整備事業費 二千万円  
 ★橋梁整備費 一千四十二万一千円  
 ★総合体育館管理運営費 二千五百三十三万三千円などの事業がある。  
 これらの財源として、地方交付税三千百八十五万円、繰越金二億一千四百九十六万二千円、町債五千四百五十万円が充てられる。

教育長 六十一万円

平成四年七月一日から適用。  
 ※字の区域の変更  
 舟見一、八三九の二番地を西中地区に編入した。  
 ※議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部改正

議会の議決に付すべき契約について、工事請負等は三千万円を五千万円に、財産の取得又は処分については一千万円を二千万円に引き上げた。

※町体育館施設条例の一部改正  
 町総合体育館の完成に伴い、体育館の名称、位置及び使用料金を追加した。

※町妊産婦医療費の助成に関する条例の一部改正  
 県の助成事業補助金交付の改正に伴い条例の一部を改正した。

※決算特別委員会を設置  
 平成三年度決算を審議するため五名の委員による決算特別委員会を設置し、十二月定例会までの議会閉会中の継続審査とした。

委員長 竹内 壮太  
 副委員長 元 島 正隆  
 委員 員 広 瀬 義孝  
 " 本 田 幸光  
 " 岡 島 松次郎

※舟見・野中統合小学校建設用地の取得  
 目的  
 舟見・野中統合小学校建設用地  
 物件表示  
 入善町舟見五七九の一

外十一筆

面積

二万一千五百五十六平方メートル  
 取得予定価格  
 一億二千六百八十一万三千三百六十七円

※教育委員会委員の任命

平成四年九月三十日任期満了になる細田睦夫氏の後任に本多宗高氏（上野四三三）、愛場一立氏を再任することに同意した。

## 議員提出議案

★第三次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画の策定に関する意見書

平成五年度から第三次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画が実施されるので、その計画策定に当たって、所要額を確保するよう強く要望するものである。

★第十一次道路整備五箇年計画の策定に関する意見書  
 平成五年度から第十一次道路整備五箇年計画が実施されるので、その計画策定にあたって、所要額を確保するよう強く要望するものである。

以上、二件の意見書送付先

内閣総理大臣 宮 沢 喜 一  
 大蔵大臣 羽 田 孜  
 建設大臣 山 崎 拓  
 自治大臣 塩 川 正 十 郎

## 11月6日 第24回 臨時議会

横山地区内で47区画、分譲

※横山分譲宅地用地の取得  
 目的  
 横山分譲宅地用地  
 物件の表示  
 入善町横山49-1  
 外13筆

面積  
 1万8,997平方メートル  
 取得予定価格  
 1億8,601万1,100円



# 町政に対する 一般質問

## 小口事業資金 預託金増額の考えは

元島 正隆 議員（無所属）

問

中小企業の資金調達を円滑にするため、無担保で六百万円まで借り入れできる小口事業資金制度があるが、この貸し出し資金は無限度ではなく、町が預託した額の六倍までとなっている。

本町の預託金は四千五百万円であり、中小企業の方が利用できる総額は二億七千万円になる。この預託原資の多少が町の中小企業対策のパロメータにもなる。預託金を積んでいる県下三十一市町村のうち、預託額の順位は二十二番目であり、下位に位置しているが増額はできないか。

### 預託金の増額 積極的に対応

町長

中小企業を対象とした融資制度のうち、小口事業資金の預託額が県下市町村で下位にあるという指摘であるが、現在のところ預託金の増額について強い要請もない。今後商工会とも十分相談し、預託金の増額について積極的に対応

して参りたい。

商工水産課長

小口事業資金の預託額の推移については、平成二年度三千万円、三年度四千万円、四年度四千五百万円と毎年増額が図られている。

中小企業に対する融資制度は他にもあり、それぞれの企業に適した制度のPRに努めて参りたい。

### 体育館の管理運営と 関連施設の整備は

問

総合体育館は、町民が気軽に利用できる配慮がなされてこそ町民の施設と言える。

町民へのPR活動、パンフレットの配布など、どのように進めて行くのか。また維持管理に関わる問題や、体育館を含む運動公園のあり方、温水プール、武道館などスポーツエリアの問題、平成六年に行われる全国高校総体に向けての宿泊施設など、スポーツ関連施設の整備をどのように考えているか。

### 施設整備

#### 計画的な対応を図る

町長

総合体育館の利用については、一部のスポーツ愛好者だけではなく、町民の健康づくり、あるいはスポーツの拠点として、子供からお年寄りまで気軽に利用できる運営にしたいと、基本的には考えている。

また施設整備の面では、宿泊施設、あるいは将来的には武道館、温水プールなどについても当然考えて行かねばならない。町財政の状況なども考慮しながら、総合計画に盛り込み、年次的、計画的な

対応を図りたい。

#### 施設の文化性を問う

問

総合体育館の落成式にはモニUMENTの除幕など行われるが、施設の文化性とは如何なるものか。また館内のステンドレスの塔は、一体どのようなことを表現しているのか併せて尋ねる。

#### 施設の文化性導入 建設費の1%目途

町長

総合体育館の文化性導入については、建設費の1%を目途として提唱されており、どのような形で導入するか留意してきた。



▲スポーツの拠点・総合体育館



▲健やかに豊かに育て（青木保育所）

総合体育館の建設費は二十三億円であり、過去の経過を踏まえ、町出身の前田常作氏の陶版、井波の横山善一氏の木彫レリーフ、富山市の岡崎星秀氏にステンレス作品を製作してもらった。

スポーツを楽しむながら、芸術的な作品とのふれあいを深めて行くという面で十分効果を上げるのではない。

ステンレス作品は、非常に抽象的な作品であり、近代的な冷徹さみたいなものが感じられる。抽象的な作品は解説を見て理解するというよりは、それを肌で感じるとそこらなにかを受け止めて行くということがいいのではないかと考えている。

## 出生数漸減 社会保障整備が重要

西尾政巳 議員（無所属）

**町長**  
本町でも人口が多少減少傾向にあるが、当面の目標は三万人台を維持することである。

出生率の低下で保育所や小中学校、行政に直接的な影響が出る。将来的には労働力不足や労働力の高齢化、また高齢者の扶養負担の増大による経済成長率の鈍化等望ましくない状況にある。

幸い、第二次ベビーブームの年代が結婚適齢期に入り、四年度は八月末で百二十三名の出生届けがあり、若干上向き傾向のため本年度は約三百名位を期待している。

また、児童手当や保育料、賃金保障を含む育児負担等多くの問題があるが、生まれてくる子供達が健やかに、豊かに育つ環境づくりに努力していきたい。

**問**  
近年の出生数をみると、十数年前までは毎年、三百七十名以上の出生があったが、三年前は二百五十一名、昨年度においては二百三十四名と減少傾向が顕著で、二十年前の約半分である。

共済をしなければ家計が維持できない、児童手当より保育料の方が高く育児休業制度ぐらいいは出生数は増えない。全国共通の問題だが、安心して子供を産める社会保障整備が最重要と思うが、町長の所見を伺いたい。

**健やかに、豊かに育つ環境づくりを**

**税務課長**  
個人町民税の約八割が企業所得であり、ベースアップ等、毎年順調に伸びている。

一方、法人町民税は企業の経営方針、景気の動向に大きく左右され、一定の伸びが期待できない。

町内の大手三社の五年間の平均税額が二億六千万円であり、三社を除く企業も個人町民税同様の伸びを示しており、企業誘致の効果が順調に現れている。

昭和五十九年に法人均等割の税額改正をし二倍以上の引き上げとなっている。翌年には法人税割りを十二・三割から十四・七割に改正し現在に至っている。

**若者に将来を担う自覚を**

**企業誘致の効果は**  
**問**  
昭和六十二年度と平成三年度の町民税を比較すると、個人納税者は五十八人の増、税額は一億五百万六千円の増である。

一方、法人町民税は法人数が七十七社の増であるが、納税額は逆に約一千五百万円の減である。

企業誘致をしても法人町民税が増えない理由は何か。また、過去にどんな税改正があったのか。

**税金は順調な伸び**

**問**  
いま、学校、生涯教育では男女平等、同権を強調しすぎてないか。権利の主張は大々的にし、義務の

実行はしない風潮が多々見受けられる。子供を生む生まないは自分たちの権利であるような風潮に対し警告をすべき時期と考える。

家庭、学校、生涯教育を通じ、社会全体を背負って行く責任と将来を担う自覚の普及に努めるべきと思うが教育長の所見を問う。

**学校、日常生活で理解**

**教育長**  
二十一世紀に向け豊かな男女共同社会を築くには、まず行政の意識改革、男女の固定的役割分担の見直しから始めねばならない。

学校教育では、料理実習、木工、電気関係など男女共通となっており、家庭生活について理解を深め家族の一員として家庭生活をよりよくする実践的な態度を育てている。

長寿は人間社会の幸福の目印である。老いはだれにも必ず来、いかなる時期でも自分の問題としてとらえねばならない。世代を越えた相互理解が一番大切である。道徳教育は勿論、家庭では父母、祖父母との日常生活を通し、人間の一生と生きざまを受け入れ、受け継いでいくものと信じている。

**充実した晩年を**

当町では老人福祉に力を注いでいるが、より一層の充実を望むものである。高齢者は長い年月、町や地域の発展に多大な尽力をされた大先輩であり、充実した晩年を

充実した晩年を

おくる権利があると思いがどうか。

### 敬老の念を若年層に

福祉課長

長寿は人間の永遠の願望である。戦後の荒廃の中から今日の経済発展の礎を成したのが現在の高齢者の方々である。後継者である若者層は、敬老の念を持ち対応すべきと考えている。

また、福祉施策の介護の分野、ショートステイ、デイサービスなど大変好評を得ており、今後の発展に合わせ、ボランティア精神のPRに努めていきたい。

### 空港周辺活性化策

農道空港誘致を

問

運輸省は新空港建設に伴い周辺地域一帯開発計画に支援する空港周辺活性化策をまとめた。これは、自治体の空港を核にしたまちづくりに応えるもので、大規模ターミナルビルに地元産品の販売、ホテルや見本市施設の設置など、農道空港誘致は駅前整備計画ともマッチする政策と考えるがどうか。

### 農業の改善目的が限定

建設課長

農道離着陸場が千九百八十八年にスタートしたが、採算面で大きな壁に直面していると聞いている。また、農道空港はあくまで農業の改善に役立てる目的を限定とし、多目的利用については、農水、運

輸省は調整上、慎重である。

しかし、新鮮な農産物をスピーディーに空輸することが地域の活性化につながり、コストの問題もあるが、夢のある農業確立のため今後とも研究していきたい。

再質問

京都の丹波町は未来開発課を作り、民間不動産業者と提携し宅地造成並びに工業用団地を増設しているが、当町も大々的に開発する意志はあるか。

町長

若者を定着させ人口増を図るための宅地造成も効果のある手法といえる。しかし、本町では今年から来年の初めにかけて、町や民間業者も合わせて百二十戸程の造成が予想される。現時点では大々的な開発は考えていない。

## 排砂影響検討委の 目的・調査の基本は

九里 郁子 議員（共産）

問

昨年十二月関西電力が黒部川出し平ダムの排砂作業を行い河川、河口周辺の海域を汚染し漁業関係者、町民に大きな衝撃を与えたが現在の河口周辺の海域と河川の汚染状況をどの程度把握しているか。

黒部川出し平ダム排砂影響検討委員会が発足したが、目的、性格、調査等の基本方針は何か。また、出し平ダムは百万立方

の空き容量確保の必要があり、毎年二十一万立方メートルの土砂が新たに堆積するため放出したいとのことだが、排砂の実態はどうか。

建設省が宇奈月排砂ゲートをもつダムを建設中で、同じ排砂問題を抱えることになるが、排砂方式見直しの申し入れをどう対応しているか。

### 三カ年間で各種調査

町長

ダムの排砂による濁水の問題については町民の生活権にもかかわることであり重大な関心をもって対処している。

排砂影響検討委員会は三カ年にわたり内面、海面漁業への影響、あるいは農業環境への影響調査を行い、必要に応じて専門部会などを設置することになっている。黒部川の自然、生態系にも強い関わりがあり、委員の一人として研究調査をしたい。

建設省が建設中の宇奈月ダムの排砂設備の問題については、現時点では特に申し入れはしていない。排砂影響検討委員会などの調査結果を踏まえて行動すべきと考え

ている。

商水産課長

排砂は十二月十一日にゲートを明け十四日に閉鎖したが、十三日の汚濁分析では音沢発電所で通常の三百倍、河口付近では百倍あった。十六日には河口は少し濁っているかなという程度だったと聞いている。

被害については、わかめ養殖場は四、五センチの土砂が付着しているというので調査結果を待たなければならぬ。海面漁業についても若干影響が出るのでないかというところだが、補償等については現在交渉が進められている。

十四日以後の排砂については聞いていない。

### 児童館の設置を 積極的に

問

毎月第二土曜日を休日とする学校週五日制がスタートし、この受皿として多彩な取り組みが行なわれたが、子供の自由な意志を前提に生活体験や文化、スポーツを保障する機会と場がふんだんにあることは地域の教育力を高め、伸び伸びと成長する糧になると考える。

学校五日制に対する基本的考えと今後の方針、児童館を小学校区単位に年次的に設置する考えはあるか。

また、学習指導要領を見直して生き生きと、真に子供たちのために、ゆとりある教育をすることが大事だと考えるがどうか。



▲入善町児童館（入善15区）

## 児童文化センター 建設を思考

教育長

学校週五日制に対する基本的なことは、子供たちがこのことよってゆとりを取り戻してほしいと考えている。

具体的には戸外での友達との遊び、自然とのふれあいの機会、また地域の行事参加、奉仕活動や好きなスポーツ、文化活動そして家族と過ごす場が多くなればよいと願っている。

児童館の設置については、今後を見通した場合、遊び場、文化施設というような、仮称であるが児童文化センターのようなものも近い将来考えていかなければならないと思っている。

学習指導要領の改定については五日制に対応した検討を加えていかなければならないと考えている。

## 保育所の自由登所 本来の役割果たせ

問

職員の完全週休二日制の実施に伴い、保育所は学校五日制にあわせて第二土曜日を家庭ふれあいの日とし、「自由登所の日」として実施されたが八月の保護者へのお願いを見ると、この措置の原則は家庭で保育をする方がいない場合だけと書かれている。

必要な人員と財源を確保し、保

育に欠ける子供たち、保育所が本来の役割を果たすべきと思うが、当局の見解を問う。

## 理解を得て実施

福祉課長

学校週五日制にあわせて保育所の土曜日の「自由登所」の対応について、現在まで三回試行しながらきているが、保護者に理解を得ながら実施してきた。今後も保護者に理解を得ながら実施していきたいと考えている。

## 老人福祉計画策定は 広く住民参加で

問

来年度の老人保健福祉計画策定に向け、本年度は高齢者ニーズの調査、福祉サービスの目標量の設定があるが、厚生省の算定基準はあるものの市町村の裁量幅を規定しており、町の胸先三寸で決まる。また住民ニーズの把握を義務付けているが調査の姿勢いかんでは結果が極めて低くなる問題もあるが、調査方法と進捗状況はどうか問う。

## 目標量の把握 民生委員に依頼

福祉課長

本年度は国のプランに基づいた基準による算出方法で数量的な目標量を把握することになるが、実際に計画を定める段階においては

町民の意見反映に十分留意しながら対応したい。

調査の方法は八月一日を基準日に六十五歳以上人口の十割をランダム抽出し、民生委員の方に調査を依頼した。

寝たきり老人については、聞き取り調査で難しい面もあつた確な状況をつかむため町の保健婦にお願いした。調査票については全て集まってきたが、電算にかけてるため中身のチェック等を行なつて調整しているところである。

## 在宅福祉介護 公的サービスへ

問

住みなれた自宅で老後をおくることは高齢者の願いである。在宅介護を家族の私的な介護に頼ることなく、公的な介護として進める必要があり、保健、医療、福祉の各分野の連携が極めて重要になっている。

痴呆性老人を抱えた家族の苦勞は並大抵でなく、ヘルパーは毎日とか必要な時に来てもらえらばぜひお願いしたいという声もある。家庭だけの介護から社会の連帯による介護への住民意識をつくるのも行政の課題であり、世論づくりの先頭に立つことを求めたい。また、ヘルパー等の待遇の保障も必要になるが、在宅福祉を公的サービスで基本的に支えるという姿勢で当たる考えがあるか。

## ボランティアを考慮

町長

在宅福祉といえども公的な部分と私的な部分、また社会的な連帯というような形の三つの部分があるのでないか。

私的な部分は、子供は親を扶養するという義務があるが、今日の社

会情勢では、なかなか義務を果たせないことは十分理解はしている。また社会的な連帯というようなことになればボランティアというものを底辺に据えて考えていかなければならないと思っている。計画策定のなかに、今ほど申し上げたような気持ちを盛り込んで対応したい。



▲ひとりぐらし老人の日常生活介護

# 土地利用計画に基づいた 公共用地の取得を

田原 進 議員 (自民)

問

政府の総合経済対策で自治省、大蔵省は地方自治体の用地先行取得について、財投資金による先行取得の引き受けに道を開くのがねらいで、両省が調整し九月補正で積極的な取得を求めるものとしている。

町でも公共用地の買取にかなり時間を要しながら進展せず、補助事業を繰り越すケースもあると聞く。

また、土地利用計画についても一貫性がなく今後の土地利用構想について町長の考えを問う。

## 土地開発基金を設置

町長

基本的な考えとして、将来的展望や利用計画に基づき必要な用地を取得するものであり、特に将来的に必要な公的用地について先行取得を行っている。これらの資金については、地方



▲完成間近い大型小売店

債の発行及び土地開発基金の活用によるものである。

町としても平成元年度に一億五千万円の基金の積立を図り土地開発基金を設置している。

また、平成二年度には二億円、三年度末には運用益を積立てし三億七千五百万円となり、これらを事業計画に基づき用地の取得に充てる。

## 理想の商業環境を

問

本年十二月三日にオープンするショッピングセンターに町の商店街より十七店が出店する。

また平成五年にはショッピングタウンもオープン予定となっているが、残された商店街は集客力が低下する状況は目に見えている。町としても地元商店街とも話し合いがなされていると思うが、今

後の商業環境の形成について町の考えを問う。

## 駐車場整備が 一番の課題

町長

近隣市町の大型店の出店に伴い商店街の販売額が減少しているのは事実である。

これらの原因の一つに駐車場不足があると思う。

駐車場の問題は、商店街、商工会とも十分相談をし、駐車場用地の先行取得なども行い、商店街の活性化のため実態に即した形で対応したい。

## 長期的な下水道 財源の対応はどうか

問

町の下水道整備基本構想では水量の増加に伴い段階的に能力を増

大きせることは困難である。長期的見通しの計画が必要であり、一般的には二十年後程度と考えられる。したがって目標年次は平成二十五年と、計画がなされているが、町の考えでは鶴山、横山統合小学校問題をもって一応学校整備が終り、この時点で下水道整備を本格的に考えるところだが、長期展望に立って実施される時期はいつごろか。

## 地域に応じた 下水道事業を

町長

本町の下水道基本計画については、平成三年度に日本下水道事業団に委託し策定に入っている。

これらを基本とした住民代表や各種団体の方々の意見などを聞き取り、担当課職員などに先遣地の視察なども行わせ早期実現に努力をしている。

下水道の建設や維持管理面においては、住民負担等も前提に考えながら、十分関係町民とのコンセンサスを図っていかねばならないと思う。

一方、財政計画についても十五年間ぐらいはかかり、予算的なものについては試算はしていないが相当大きな予算を要する。ほかの大型事業とのバランスなども考え財政的な見直しも十分考慮しながら進めたい。

下水道の具体的な仕事はあと二、三年後を目途とし本格下水道だけではなく農村下水道とか地域の実態に即した形で取り組んで行く



▲市街地駐車場の整備を (中町商店街)

# 合併40周年の記念事業

## 内容は町民のため

松沢孝衛 議員(自民)

問

平成五年に入善町合併四十周年を迎えるが、その事業の一環として、後世に残すためのビデオ制作、姉妹都市のフォーレストグループ市のセミナーハウスの建設、運動公園に人工の丘や森の造成などがあるが、財政も厳しい状況のなか、あえて運動公園に投資する必要があるのか。

また、下山地区に北陸電力の発電所を買い受け美術館や文化の森などを建設する必要があるのか疑問に思う。

下山地域は特に、亜熱帯、寒帯の植物の宝庫で、その中でも県の指定を受けた大森は有名であり、それらを整備する必要があるのではないか。

来年度を迎える合併四十周年事業に対しての町長の考えを問う。

### 運動公園に

### 平成の丘建設

町長

昭和二十八年に新入善町として誕生し、町民の皆さんや歴代議員の方々の努力により来年十月一日で四十周年を迎えることになる。

この記念事業として運動公園に平成の丘の建設を検討している。

この建設に関しては、道路公園の朝日・上越間四車線化に伴うトンネル工事と相当量の土砂が出るためその処理として朝日か入善町で埋め立ての計画があり、その用地を提供すれば公園で運搬することになるので、今検討中である。

フォー市のセミナーハウス建設については、オレゴン州と富山県は友好県州締結なども行なっており、町としても友好を深めたい。



▲下山八幡社(下山地内)

そのことも背景に予算額を三千万五百万円程を想定しており、県知事も町の意向を前向きに検討したいとして、計画書の提出を求められている。町が全額負担するのはなく県の補助を期待している。また、下山に「文化の森」については、北陸電力から用地及び建物を買収することで合意しており、この地を文化・芸術の拠点にしたいと考えている。

財源として下山に二つの発電所が新設されたことに伴い通産省より一時交付金で約一億円が入る予定であり、それらを基盤として年次的、計画的に事業を進め財政に負担にならないようにする。

その他、総務部門では記念植樹、一日町長などの一日行政体験、芸術部門ではNHKのど自慢、パネルドレスカッション、コンサートなども計画している。

### 陸砂利採取の道路等の損傷は

問

黒部川の上流で砂防堰堤やダム建設により黒部川には土砂が堆積しなくなり、陸砂利採取が町内の農地で見受けられる。

これら採取した土砂を一日数十台のトラックが運搬しているため道路の損傷や騒音、粉塵、交通安全等の面について関係者とのように話し合っているのか。

### 業者の責任で

### 現状回復を

町長

陸砂利採取の許認可は県の採用法に基づき許可を出しており、町では県の許可に基づき農業委員会で農地の一時転用の許可を出している。

陸砂利の運搬等については、事前に業者と町担当課が協議を行い、交通安全の面からは警察とも十分連絡をとり事前に道路をチェックしたりし、道路が損傷した場合などは現状回復などを業者の責任で行なわせ、場合によっては迂回させるような指導も行なっている。

### 地域割り採取を

### 地下水の汚染が心配

問

採取した跡地を山砂で埋め戻すのが本当であると思うが、業者に

よっては山砂以外のものでも埋めることもあると聞く。そのことにより地下水汚染なども心配される。今後、建設課などが採取現場をパトロールを行い厳しいチェック体制を取るほか、陸砂利採取の地域割りなど、規制する考えはないか。

### パトロールは県で

町長

陸砂利採取の現場パトロールについては県の管轄にあるので県が十分な監視を行なうのが当然であり、町がパトロールを行なう考えはない。

しかし、山砂以外の埋め戻しに対しては地下水等の問題から町民には大きな関係があり、地域住民の方からの通報等があれば早急に県と連絡を取り現場の監視などを行なう。

### 仕事に応じた

### 職員配置を

問

町民の要望で一番多い道路、水路等の計画施工について努力されていることについては評価する。

しかし、町が発注する段階と内容が若干食い違いが時々あると聞くが、その原因として設計段階での職員不足が一番の原因ではないか。これら事業に対し現場とのトラブルを解消する手段として定年後の方の雇用などを考える意志はないか。





▲陸砂利採取（青木地内）

### 経験豊富な

### OBの力も検討

町長

公共事業の前倒しや景気浮上の事業の増加などに対し建設、商工水産課などの技術職員が若干不足していることは事実である。

しかし、本年度三名の技術職員を採用し、その中の一名は道路公団で具体的な仕事をやってきた経験もあり、ある程度の技術的な対応ができる態勢である。

一方、現場の監督や工程管理などで技術者が不足していることも確かであり、県職や町職員の技術職員OBの方々の雇用も含めて検討したい。

## 景気浮揚策

### 町長の基本姿勢を問う

本多 幸男 議員（清新ク）

問

長引く景気後退に対応するため政府経済対策閣僚会議は十兆七千億円の財政措置をもって、総合的な経済対策を実施するとしている。県においても、景気浮揚策として二百八十五億円に上る、過去最高規模の補正予算が提案された。内容としては公共事業百四十七億円、県単独事業百十三億円、公用地の先行取得に七億円などである。しかしこれら事業の受け皿となる市町村の対応も極めて重要であり、景気の落ち込みによって町税の減収も予測されるおりから、景気浮揚策と、その財源対策を含め町長の基本姿勢を尋ねる。

### 事業の優先度見極め

### 大幅な補正予算

町長

政府では景気の浮揚を図るための道路、公共施設をはじめ社会資本の整備を積極的に進めるとし、総合経済対策の実施を決定し、県においてもかたつてない補正予算が計上されたところである。

本町では、九月補正予算で町単独の道路及び地方特定河川の整備事業、無雪害まらづくり事業など一億八千万円、土地改良事業の負担金、補助金で約六千万円計上し要望に応じている。

今後は農村基盤総合整備事業、県営土地改良総合整備事業、さわやか漁村海岸整備事業、漁港改修事業、中央通り線の整備事業など

問



▲8号線の交通渋滞（黒部大橋付近）

大幅な追加が予想される。一般財源の伸びが期待できず、財源を起債に依存するという厳しい財政運用を迫られるのではないかと懸念している。

### 幹線道路網整備

### 進捗の状況は

問

幹線道路網整備計画の進捗状況について、国道八号線の現道拡幅計画はどのように推移しているか。また、八号線バイパスについては資料によると、本年度公共予算で、魚津市十七億円、黒部市十億円、入善町一億一千万円と、用地買収を含めた予算がついているが、未だに用地交渉も行われていない。現状はどうか。

### 八号線の渋滞緩和

### 新黒部大橋を優先

町長

国道八号線の現道拡幅は、入善警察署から上原の農協ガソリンスタンドまで約二キロの延長であり、昭和六十二年に建設省が説明会を開催し、その後一服の状態である。

事業費が呉西地方の国道整備に重点配分されたように見受けられるが、このように急に取り組み姿勢が変更されたことは、段階的

問題と言えど強い不満をもっている。

最近野山地区で一部用地交渉が進められているが、建設省へ陳情を行った際、担当課では現道拡幅を含め、入善から黒部に向けて整備を行いたいと聞いた。予算面で魚津、黒部へ大幅に配分されているなら、実情を十分調査したい。

新黒部大橋の建設問題については、八号線バイパスの事業計画で取り組むと発表されている。現道の渋滞緩和を考えると、まず第一に新黒部大橋を優先させることで黒部市と意見の一致をみており、強力に陳情を展開して参りたい。

### 用地交渉 プロジェクトチームの 編成は

問

公共事業の前倒しで県道、町道などの事業費増が予想されるが、受け入れ態勢が整わないと工事は前進しない。

建設課や都市計画課、商工水産課などの担当課は、夜遅くまで用地交渉に奔走され、その努力に敬意を表すが、地権者を相手に如何に交渉を成立させるか、行政の大きな課題である。

現状では、用地交渉は各担当課でそれぞれ当たっているが、横の連携がとれていないように見受けられる。複雑多様化する用地交渉に対応するため、プロジェクトチームをつくる用意はないか。

### 必要に応じて編成

町長

用地買収に係わる組織の問題については、用地課の設定ということも過去何回も検討してきたが、担当課で従来どおり取り組む方が効率的であるということと今日に至っている。必要に応じて助役をキャップにしたプロジェクトチームをつくることも考えていきたい。また用地買収にあたる職員には、札東でその土地を買うという気持ちではなく、相手の心を分けてもらうという気持ちで用地買収に当たる職員が一番大切なことであり、常にそのような気持ちで対処するように指示している。

助役

町の事業においては、それぞれの担当課で用地交渉を進めているということ、必ずしもバランスがとれていない部分がある。特に物件の保償はケースバイケースで考えなければならぬ面も多く、一概には言えないが、横の連携を取るとなるとプロジェクトチームなどを編成し、絶えず情報の交換、交渉の仕方などについて部内協議をするというのは望ましいと思っ

### 土地改良区の統合に 指導力を期待

問

九月補正予算の中で土地改良区総合整備推進協議会に三十万円の補助金が計上されている。この協

議会の構成員と協議されてきた内容、統合の目的などを尋ねる。

土地改良区連絡協議会から、国営水利事業所を事業終了後払い下げしてもらいたいと請願も出されているが、国営水利事業所はどのように答えているか。

各土地改良区とも今日までの事業内容によって、償還年限や償還金が異なること、経費費、特別償還金をはじめ、諸規定に至るまで実態が異なっており、統合された場合の職員の雇用と労働条件はどのようになるのか、最も大切なことは職場を追われることのない形で、統合による土地改良事業のメリットをいかに引き出すかである。厳しい情勢化にある農業を守り、国土の緑を保全するという立場で最良の指導力を発揮されるように特に要望する。

### 土地改良区統合 理解と協力の中で

町長

土地改良区の統合については、本来農民の皆さんの意志によって決められるべきものである。しかし農業を営む情勢は非常に厳しく、土地改良区のおかれてい

る現実の問題を理解していただき、適当な統合をされた方が良く考えている。  
現在、県の土地改良区連合会、あるいは県農地林務部の担当課など参加して協議を重ねており、理解と協力の中で推進すべきものと



▲黒部川沿岸農業水利事業所（上野地内）

また国営灌排事業は来年度で終了するが、事務所の処分については困の方でも払い下げに同意を示しており、今後土地改良区の統合状況などみながら、払い下げを受けるか検討して参りたい。

また、統合した場合職員の問題については、首を切るといふような事はとんでもないことであり、自然退職や協力を得る形で、県や連合会などの指導で労働条件を含めて円滑に解決されるものと、また推進すべきものと理解している。  
建設課長  
土地改良区の管内協議会では、県の統合整備推進モデル地域の指

定を受け、各土地改良区の現状、役員、賦課基準、組合員の負担状況、経常経費など分析調査を進めている。これら資料がある程度まとまったところで、統合整備推進協議会が設立されるものと考えている。構成員には各土地改良区理事長、町、県、県土地改良事業団体連合会などが考えられる。  
協議会の事業としては、統合整備にかかる基本的な調査、分析、統合構想の策定、広報活動などがあげられる。  
また県の統合整備推進モデル事業の計画年度は三カ年を予定している。



▲利用が多い機能訓練室（老人福祉センター）

## 笑顔で接する心 「福祉の里入善町」を

広瀬 喜代志 議員（自民）

### 積極的姿勢で臨む

町長

問 急増する高齢者の対策として、政府は市町村に対し平成五年度までに老人福祉計画の策定を義務付

けております。長寿は永遠の願望であり、高齢者には敬老の念をもって接することが大切であります。数多くの老人と接し話をしておりますと、寂しくて寂しくて仕方がないという言葉をよく耳にします。大切なのは笑顔で接する心だろうと思っております。計画策定にあたっては、人に接し意見を聞いて、先輩にやさしい「福祉の里入善町」を目指すべきだと考えるかどうか。

町長 黒部川出し平タムの排砂問題や影響については、九里議員の質問にお答えしたとおりであります。直接住民の生活にかかわる問題であり、町民の意見等については十分反映するように努力したい。

### 意見反映に努力

問 また宇奈月にも多目的タムの建設が進められている。本町は黒部川から受ける恩恵は非常に大きいものがあるが、昨年のタム排砂によって清流黒部川の汚濁は海面にまで達し生息する魚介類や農業にも影響があるところがあります。また地下水は黒部川によって涵養しているともいわれ、このような事態は見逃すことはできない。出し平タム排砂影響検討委員会が設置されたが、町民の意見を反映させるべきと思うかどうか。

### 出し平タム排砂 町民の意見反映を

問

黒部川には多数のタムがあり、近いうちに多目的タムの建設が進められている。本町は黒部川から受ける恩恵は非常に大きいものがあるが、昨年のタム排砂によって清流黒部川の汚濁は海面にまで達し生息する魚介類や農業にも影響があるところがあります。また地下水は黒部川によって涵養しているともいわれ、このような事態は見逃すことはできない。出し平タム排砂影響検討委員会が設置されたが、町民の意見を反映させるべきと思うかどうか。

### 地下水は町民の財産 保全是全体で協議を

問

地下水対策について、良質豊富な地下水源は町の宝であり、この魅力はあらゆる企業から注目されている。

新屋の上流地区に清涼飲料水の工場が予定されると聞く。企業進出は町発展に寄与すると理解するが、地下水は町民の貴重な財産であり、きれいで豊富な水は後世まで継承していく責務がある。現段階において地下水を規制する条件がないことから無制限に取水することが予想される。同種の企業が進出し大量に汲み上げると町民の飲料水まで恐怖感にさらされる。環境保全、地下水保全から全体で協議することを考えるべきと思うかどうか。

### 涵養を含め対応

町長

地下水は産業のための資源であり、町民共有の財産だと受けとめている。

今まで何度か調査をしており、揚水可能量については意見が分かれるが、専門家の意見を総合すると日量二十五万、ないし三十万、は可能でないかと判断している。本町の日量揚水量は七、八万、ぐらゐであり容量的には十分余裕があると思う。しかし消雪装置が一斉に作動すると相当額が急激な形で汲み上げることが心配な一つの要因でないかとも考えている。涵養など含め対応し、子々孫々まで引き継ぐことが我々の責務と厳しく受けとめている。



▲清澄な地下水（五十里地内自噴水）

# 常任委員会 審査報告

総務常任委員会 9月16日  
文教厚生常任委員会 9月16日  
産業建設常任委員会 9月17日

## 一般会計補正予算ほか7議案

### 顧問弁護士報酬費を了承

総務常任委員会

委員長 広瀬 喜代志

とのことで了承した。

当委員会付託案件は、議案第三十五号平成四年度一般会計補正予算の付託部分、議案第三十六号入善町の休日定める条例の一部改正、議案第三十七号職員勤務時間に関する条例の一部改正、議案第三十八号議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正、議案第三十九号町長等の給料その他の給与及び旅費支給条例の一部改正、議案第四十号字の区域の変更、議案第四十一号議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部改正の議案七件で、いずれも全会一致で可決すべきものと決した。

### 職員定数見直しを 超過勤務を懸念

議案第三十六号、三十七号につ

いては自治省の指導方針に基づいた完全週休二日制の導入に関するもので、国や県、市においては既に実施されていることから、県下町村も順次実施の方向で町村会の申し合わせもあり、妥当な方向付けである。

しかし当局が基本的な方針として、住民サービスの低下はさせない。超過勤務は求めない。職員増は計らない。ボランティア活動に参加する等、きれいごとばかり述べられており、議会対策として出された資料のように見受けられる。

O A化の促進や事務事業の見直しと業務の簡素化、外部委託、代休制の導入などに併せて定数外職員六十一名の存在をどうするのか。

### 年度毎に残業が増え、抑制を行

なうとしても特定の課における超過勤務の状況はどのように変わるのか懸念され、また消防職員は県下でも最低の人員であることや、保育業務においてもゼロ歳児保育の時代がきていることを総合すると、現行の職員定数が定められてから相当の年数を経過しており、定数の見直しが必要でないか。

時代の要請に際する週休二日制はどのような問題を生じるか、問題を生じるかを掘り起こし、解決策を示す姿勢を望みたい。

### 特別職、議員報酬突出 慎重な対応を

議案第三十八号、三十九号は議

員報酬、町長等の給料の改正であるが、特別職等報酬審議会の答申を受けたものであっても審議会の論議を十二分に反映すべきであり、特別職と議員だけが突出しているあるいは二年に一回自動的にお手盛りをしているというような町民からの批判が出ないよう慎重な対応をしなければならぬ。

特に一般職員、消防職員あるいは現業部門の職員賃金など県下の

### 空き缶回収機増設

#### 前向きな取り組みを

文教厚生常任委員会

委員長 九里 郁子

市村の中で下位にランクされていることは当局は十分承知のほうである。フランスが崩れているような問題があれば早急に改善されるよう付帯条件を付けたところである。

議案第四十一号について、当局

は予算編成の段階で十分説明し、財産の取得についてもその都度事前に協議しないことであるが、独断先行があつてはならないし、またそうならないよう専決処分についてもできるだけ減らすよう努力されたい。

### 陸砂利採取 監視体制の確立を

平成二年十月、県による地下水

の水質調査が実施され、目川地区からトリクロロエチレンが検出され大きな問題となり、平成四年二月には町独自で抽出調査をしたところ、田中地区から一・一・一トリクロロエタンが検出されている。

担当課においては精力的に対応され、次第に数値も下がり、検出されなくなるまでになっている。

本町においては以前から陸砂利採取がおこなわれているが、下流住民から埋め戻し土砂による地下水汚染を心配する声もあり、行政住民一体となった監視体制の確立と地下水調査の検査体制の確立を望みたい。

また、最近では特に河川の汚濁も

### 衛生費のクリーン入善7129

作戦事業に空き缶回収機一台の増設がある。今年五月から役場横に設置された空き缶回収機は九月十日現在、アルミ缶十八万四千個、スチール缶一万九千個を回収し成果も上がっているが、子供たちが夏休みに入り深夜まで自動販売機横の空き缶入れや、ゴミステーションの中から就って拾ってくるという光景も見受けられ、モラルの問題も提起されたところである。

しかし、生活環境の美化、資源のリサイクルに少なからず役立つ

ひどくなってきたことから、水質保全に対し適切な指導もあわせてお願いしたい。

### 選手の強化育成評価 奨励金制度検討を

教育費について、学校創立記念事業補助金があるが、補助額もさることながら十年、五十年といった補助年度区分の検討をされた。保健体育では、2000年団体を目標して選手の強化、育成も進められ優秀な選手が生まれていることに対し、指導者の努力を評価する。

しかし、町を代表して各種大会に選手が出場しているが交通費等は選手自らが大半を負担しており若干問題もあるように思われる。

また、選手の強化を図る観点から、各種大会で優秀な成績をおさめた選手に対し、町長あるいは教育長など町が労いの言葉をかける機会をつくることや奨励金の制度等の必要があると思われ、前向きに検討されたい。

体育施設については、県下に誇る総合体育館も出来上がり町民の長年の夢が実を結び、関係者の努力に敬意を表したい。

さらに宿泊施設や温水プールなど、総合的な整備が計画されているが、町民一スポーツの普及という観点からも多くの町民に利用していただくことが大切であり、運営に当たっては十分考慮されたい。

また学校の五日制の導入にあたり、休日の受け皿づくり等から第二土曜日の前面開放を要望する。



▲空き缶回収機（役場庁舎横）

## 農業所得増大で活性化を 担い手確保、成果を期待

産業建設常任委員会  
委員長 田原 進

当委員会付託案件は、議案第三十五号平成四年度一般会計補正予算（第二号）中、歳出のうち第六款農林水産業費、第八款土木費の議案一件で、いずれも全会一致で可決すべきものと決した。審査の過程で出された意見を若干申し上げたい。

農業費では、本町の基幹産業である農業の振興に対し機械導入に対する補助や新規担い手確保推進活動補助や新三百四十万円が計上されているが、担い手確保については新規就業者、Uターン者の掘り越しを進めるため技術研修など含まれており成果を期待したい。

特産物活性化対策では保冷庫導入の補助金があるが、以前から地域活性化に向けての検討が加えられてきている。農業所得の増大を図り活性化を目指すものであるが行政指導型でなく生産者が一体と



▲活躍する除雪車

なって取り組める組織の確立に努力されたい。

### 工事の積極姿勢を評価 総合経済対策に呼応

土木費では道路橋梁工事費一億二千九百九十万円、除雪機械購入一千九百六十六万円がある。道路関係の工事は住民生活に密接したものであり、町単で住民ニーズに積極的に応えられた姿勢を評価したい。また、公共事業については政府の十兆七千億円という空前の総合経済対策に呼応する取り組みも期待したい。

除雪対策については、近年降雪量が少なく問題がないように思われますが、道路除雪については住民の要望も強いことから適切な配慮を望みたい。

### 市街地の用途 見直しを期待

都市計画費では、都市計画基礎調査委託料三百九万円があるが、本年六月の都市計画法及び建築基準法の改正に伴い市街地二百三十四丁の用途見直しを図る資料作成であり、国道八号線の現道拡幅や中央通り線の改良に合わせた適切な見直しを期待する。

公園事業整備では青野自然公園の運動広場のフェンスや簡易トイレ二カ所の設置に併せ、さく井を行い手押し式ポンプを用いて飲料水等の用に供することになっていくが、安易な考えを指摘する意見もある。長期的な展望にたって熟慮されることを付け加えておきたい。

議会

日誌

(★印は町村議会議長会の職務)

八月 (はずき)

- 26日★富山県沿海地方友好提携調印式 (富山市)
- 27日★北陸新幹線建設工事起工式 (小矢部市)

九月 (ながつき)

- 1日 議会運営委員会
- 2日 群馬県下仁田町議政行政視察 来町
- 3日 富山県町村議会議員研修会 (富山市)
- 5日 日韓友好議員連盟訪韓 (韓国)
- 7日 農免農道開通式 (滑川市)
- 8日★県総合防災訓練 (滑川市)
- 9日 新川地域推進協議会陳情 (県庁他)
- 10日 議員全員協議会
- 第23回議定例会 (提案理由説明)
- 11日 総合体育館建設特別委員会 議会運営委員会
- 14日 議定例会 (一般質問、質疑、委員会付託)
- 16日 文教厚生常任委員会 総務常任委員会 産業建設常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 21日 議定例会 (各常任委員長 審査報告、討論、採決)

十月 (かなづき)

- 21日 議定例会 (各常任委員長 審査報告、討論、採決)
- 25日 東京入善会 (東京)
- 28日 文教厚生常任委員会行政視察 (大島町、金沢市)
- 29日 議定例会 (各常任委員長 審査報告、討論、採決)
- 1日 決算特別委員会 議員全員協議会
- 第24回議会臨時会
- 2日★県町村議会議長会理事会 (大沢町)
- 6日 東部議会議長会研修視察 (長野県中野市)
- 7日 景町村議政事務局職員研修会 (利賀村)
- 8日 石川県珠洲市議政運営委員 会行政視察来町
- 9日 町総合体育館竣工式
- 10日 下新川郡議政議長会臨時総会 (宇奈月町)
- 14日 富山空港国際定期便開設推進協議会総会 (富山市)
- 16日★中日日本町村議政議長会 議 (奈良県)
- 20日 議
- 21日 決算特別委員会
- 22日 決算特別委員会 朝日・滑川沿岸道路建設期成同盟会発起人会 (魚津市)
- 北陸財政金融懇話会 (富山市)
- 22日★全国町村議政議長会 (東京都)
- 23日 決算特別委員会 (東京都)
- 25日 県知事選挙投票日
- 北海道妹背牛町開基百年記念式 (妹背牛町)

十一月 (しもつき)

- 1日 町政功労者表彰式
- 4日★県政要望(陳情)
- 5日 決算特別委員会
- 6日 議員全員協議会
- 第25回議会臨時会
- 8日 関西入善会 (大阪)
- 町生涯学習大会
- 10日 富山県町村議政議長会管外行政調査(シンガポール)
- 12日 朝日・滑川間国道バイパス 建設促進陳情 (東京)
- 16日 第11次道路整備富山県総決起大会 (富山市)
- 興東地区議長会研修会 (熱海市)
- 17日 北陸三県町村議政議長会研修会 (東京)
- 18日 町村議政議長会全国大会 (東京)
- 18日 決算特別委員会先進地行政視察 (滋賀県大津市)
- 19日 新川広域営農団地農道整備事業陳情 (東京)
- 24日 スーパー農道阿古屋トンネル開通式 (黒部市)
- 県地方議員連絡協議会 (富山市)
- 26日 新黒部大橋建設促進期成同盟会中央陳情 (東京)
- 26日 総務常任委員会行政視察 (新潟県柏崎市)
- 27日 北海道清水町議政運営委員会視察来町



▲下水道事業視察 (沼田市役所)

編集後記

☆実りの秋も終わり、まもなく師走。寒い季節があと少しです。今年にはバブルの崩壊による景気の低迷が続いており、一段と寒い冬になりそうです。

☆十一月二日、町政功労者の表彰式があり、二十五名の方が栄える栄誉を受けられました。

入善町発展に尽くされた長年の功績に対し敬意を表するとともに感謝申し上げるものであります。☆度重なる政治家への献金疑惑に対し、国民から強い批判と再発防止が求められながら、国会で抜本的な改革が得られず、またも佐川急便疑惑が発生した。

政治資金規制法の改正、政治改革を早急を実現するように、当町議会でも意見書を提出しました。☆十二月定例会議が始まります。熱い討論を期待するとともに、町民の皆さん多数の傍聴をお願いします。

議会だより編集委員

- 池原金典志 野坂 俊一
- 広瀬喜代志 九里 郁子
- 田原 進 五十里隆章
- 竹内 社太
- (オブザーバー) 石川 昭男

(K・I)